

NITS 動画教材「校内研修シリーズ」演習シート

【No. 176 : 外国人児童生徒等に対する日本語指導】

(1) 外国から編入したばかりの児童生徒に対して、日本語の初期指導として学校生活を送る上で必要な日本語を教えます。サバイバル日本語という発想で、学校生活で他の児童生徒や教師とつながるために必要な日本語にはどのようなものがあるでしょうか。下記に例を書きましょう。

(2) 教科と日本語の統合学習では、児童生徒の実態に合わせて目標を立てます。教科の目標を立てた上で、その目標を達成するためにどのような活動をどのような日本語の語や表現を使いながら行うかを考えます。あなたが担当する児童生徒の実態を踏まえ、教科と単元を一つ選び、教科と日本語の目標を立ててみましょう。

教科名：

単元：

教科の目標：

日本語の目標：

(3) 学習指導要領に記載されている対応について、教育者として、どのように実践できるでしょうか。管理職、学級担任、日本語指導担当教員・支援員等、児童生徒にかかわる教職員に共通して実践することと、担当者だからこそ実践することを分類し、さらに自校の連携体制を考案してみましょう。

(4) 外国人児童生徒の学びの機会の保障および言語的文化的な多様性の尊重を全校で実現するために、自校でどのような取組みができるか、考案してみましょう。